

瑞浪市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

【文化・社会教育系施設】

①コミュニティ関連施設・文化施設・図書館等

(第1期第7版)

令和8年3月

瑞浪市みずなみ未来部生涯学習課

目 次

1. 計画の策定について	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の位置づけ	1
(3) 対象施設	1
(4) 計画期間	1
2. 現状と課題について	2
(1) 個別施設の状態等	2
(2) 利用者数の推移	3
(3) 施設ニーズの対応	3
3. 計画策定方針	4
(1) 基本方針	4
(2) 対策の優先順位の考え方	4
4. 具体的な取組内容について	4
(1) 対策内容と実施時期	4
(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール	5

改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月
第6版	令和7年3月
第7版	令和8年3月

1. 計画の策定について

(1) 計画策定の趣旨

瑞浪市の所有する「コミュニティ関連施設・文化施設・図書館等」については、一部を除き老朽化が進んでおり、大規模な改修を要する施設が複数存在します。

特に、公民館施設については各地域における文化行政の活動拠点と位置づけているため、将来にわたり需要のある施設であります。

しかしながら、人口減少等に起因する各施設の利用需要の変化が予測されるため、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことで、「公共施設の最適化」を導く必要性があります。

そのため、「コミュニティ関連施設・文化施設・図書館等」の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的に、本個別施設計画を策定します。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、市の保有する公共施設等の内、次に示す施設とします。

瑞浪市公共施設等総合管理計画より抜粋

中分類	小分類	施設名称
文化・社会教育系施設	コミュニティ 関連施設	中央公民館（複合施設：総合文化センター）
		稲津公民館（複合施設：稲津コミュニティーセンター）
		陶公民館（複合施設：陶コミュニティーセンター）
		陶公民館 体育室
		日吉公民館（複合施設：日吉コミュニティーセンター）
		釜戸公民館（複合施設：釜戸コミュニティーセンター）
		大湫公民館（複合施設：大湫コミュニティーセンター）
	文化施設	総合文化センター（複合施設：中央公民館、併設：市民図書館）
	図書館等	市民図書館（併設：総合文化センター）

(4) 計画期間

コミュニティ関連施設・文化施設・図書館等の整備計画を進めるにあたっては、当市における適正な配置を考慮した上で、整備が必要な施設を明確にし、取り組んでいく必要があります。

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間を第1期とし、ローリングします。なお、5年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

2. 現状と課題について

(1) 個別施設の状態等

本計画における個別施設の状態等は、次に示すとおりです。また、点検・診断については、職員による目視点検を実施するほか、改修が必要な施設について、基本設計等に包含して実施します。

施設名称	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
中央公民館	S59 (1984) 年度	5,992 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	70.6%
稲津公民館	S60 (1985) 年度	950 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	68.0%
陶公民館	H16 (2004) 年度	1,159 m ²	鉄筋コンクリート造	30.0%
陶公民館体育室	H1 (1989) 年度	373 m ²	鉄筋コンクリート造	66.0%
日吉公民館	S60 (1985) 年度	896 m ²	鉄筋コンクリート造	68.0%
釜戸公民館	H10 (1998) 年度	1,172 m ²	鉄筋コンクリート造	42.0%
大湫公民館	H3 (1991) 年度	774 m ²	鉄骨造	75.6%
市民図書館	S58 (1983) 年度	1,239 m ²	鉄筋コンクリート造	74.0%

※令和元年度（2019年度）固定資産台帳によるデータ

※複合施設・併設名称は省略してあります

これまでに実施した主な施設更新内容

施設名称	建築年度	更新年度	更新内容
中央公民館	S59 (1984) 年度	H9 (1997) 年度	アプローチデッキ改修（防水・タイル）
		H19 (2007) 年度	空調設備改修、電気機械設備改修
		H20 (2008) 年度	文化ホール改修（舞台機構、舞台照明設備、舞台音響設備）
		R4 (2022) 年度	文化ホール天井等改修（特定天井） 文化ホール改修（舞台照明設備、舞台音響設備）
稲津公民館	S60 (1985) 年度	H23 (2011) 年度	空調設備更新（事務所）
		H26 (2014) 年度	空調設備設置（ホール）
		R1 (2019) 年度	舗装等改修
陶公民館	H16 (2004) 年度	R5 (2023) 年度	ガスバルク設備更新工事
陶公民館体育室	H1 (1989) 年度	H29 (2017) 年度	屋根防水・外壁改修
日吉公民館	S60 (1985) 年度	H27 (2015) 年度	空調設備更新（事務所）
		H29 (2017) 年度	空調設備設置（ホール）
		R7 (2025) 年度	長寿命化（屋根補修、空調設備、衛生設備ほか）
釜戸公民館	H10 (1998) 年度	R1 (2019) 年度	ウッドデッキ改修
		R5 (2023) 年度	空調設備更新
大湫公民館	H3 (1991) 年度	H29 (2017) 年度	空調設備更新
		R6 (2024) 年度	長寿命化（給排水・空調）
市民図書館	S58 (1983) 年度	H19 (2007) 年度	屋根防水・外壁改修

※複合施設・併設名称は省略してあります

(2) 利用者数の推移

各施設における利用者数（延人数）の推移は、次に示すとおりです。

施設名称	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中央公民館	107,021	99,505	106,093	100,273	89,230	94,608	94,739	78,385	26,831	29,588	31,571	57,649	57,201
稲津公民館	35,648	32,654	34,203	32,547	36,222	42,919	41,289	36,308	17,259	17,838	25,048	24,482	28,139
陶公民館	27,343	24,452	29,188	26,908	26,754	22,973	21,077	19,516	6,628	15,704	12,679	15,513	15,311
日吉公民館	13,015	10,835	11,052	12,592	12,923	10,060	11,956	11,027	3,898	7,341	7,314	10,217	9,866
釜戸公民館	19,097	20,205	25,898	29,647	35,735	26,767	29,947	21,546	9,496	10,859	12,999	14,331	16,625
大湫公民館	5,646	7,772	8,756	3,685	3,929	4,888	3,540	4,371	1,818	2,461	2,326	2,452	2,441
市民図書館	217,220	205,587	209,836	217,311	206,740	203,322	198,668	194,141	143,261	167,818	187,296	179,189	169,392

※歳入歳出決算実績報告書から抜粋

※陶公民館体育室（H22～）は、陶公民館に算入してあります

※市民図書館の数値は、蔵書の貸出冊数を計上してあります

※複合施設・併設名称は省略してあります

(3) 施設ニーズの対応

地区公民館においては、指定管理者制度の導入以降、公民館講座や文化祭等の事業が活発化しており、利用者が増加しています。また、公民館講座から発生した自主活動団体も増加傾向にあり、市民の文化活動は着実に活発化しているといえます。

その他、まちづくり推進組織の活動も主に公民館施設を利用して行われていることから、地域コミュニティの中核施設となっており、高齢化が進む地域において今後ますます重要な施設であると考えています。

一方、中央公民館においては、対象地区が瑞浪地区、土岐地区、明世地区と広範であるため、公民館講座等の周知が広報やHPに頼らざるを得ない状況にあります。利用者は概ね順調に推移しています。

中央公民館の特色としては、大ホールを保有していることから、音楽関係、舞台関係の団体貸館が盛んです。多くの団体が時間帯を問わず活発に利用しています。

市民図書館においては、公立図書館として必要な資料収集・保存を行い、市民等の利用に供しています。

市では、平成20年度（2008年度）に指定管理者制度を導入し、図書館の利用拡大を図ってきましたが、人口減少やメディアの発達に伴う若者の活字離れによって、貸出冊数が減少傾向にあります。

いずれも豊かな市民生活のために必要な施設ではありますが、地域情勢の変化や利用者ニーズを的確に捉え、合理的な施設計画を策定することが必要と考えています。

3. 計画策定方針

(1) 基本方針

- ① 老朽化率が50%を超える施設については、施設の現状及び課題を的確に把握し、個別に更新時期の目標を設定するとともに、改修計画を策定します。
現状において稼働率の低いスペースについては利用形態を見直し、合理性の高い施設運営に努めます。更新時における計画では、総量削減を最優先に考え、近隣施設との複合化に向け、その時期の整合性を図るために必要な施設の長寿命化を実施します。
- ② 公民館（中央公民館を除く）については、コミュニティーセンターとの複合施設であるため、庁舎等その他施設に関する個別施設計画と調整を図りながら検討を進めます。
- ③ 陶公民館体育室については、どんぐり工房との複合施設であるため、民間移管を検討することとし、令和6年10月に地域住民を中心とした陶公民館体育室移管検討委員会を開き、体育室の民間移行に賛成との意見を取りまとめました。
- ④ 中央公民館、市民図書館については、瑞浪駅周辺再開発事業に合わせ再編成を進めます。

(2) 対策の優先順位の考え方

「コミュニティ関連施設・文化施設等」の施設整備を進めるにあたり、利用者の安全性の確保や各施設の抱える課題等について、次の視点から総合的に判断し、緊急性の高い施設から取り組みを進めます。

- ① 利用者の安全の確保
施設に著しい老朽化が見られる、災害に関するリスクが高い等、利用者の安全確保に課題がある施設については、その解消を図るため優先的に取り組みます。
その際において、施設の管理上合理性が高いと思慮される施設改修も併せて取り組みます。
- ② 財源の確保
国・県等の補助事業や起債などの財源が活用できる施設整備については、その活用機関等を鑑み、優先的に取り組みます。

4. 具体的な取組内容について

(1) 対策内容と実施時期

利用者の安全性を確保するための事業は、早急に実施することとします。

施設の老朽化に伴う改修事業は、現状を勘案の上、必要な事業について実施します。

(2) 対策費用と今後の方向性、スケジュール

施設名 ※複合施設名称は省略	建築 年度	耐用 年数	使用 目標 年数	今後の 方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
中央公民館	S59	50		複合化	対策内容		調査・報告業務、 特定天井 実施設計	調査・ 改修計画		調査・報告業務 天井改修 工事	天井改修 工事、 ホール設 備修繕		調査・報告 業務		
					対策費用		7	14		71	127		1		
稲津公民館	S60	50	60	長寿命化 複合化	対策内容			舗装等改 修	調査・ 改修計画						
					対策費用			9	1						
陶公民館	H16	50		複合化	対策内容				調査・ 改修計画			ガスバルク 改修工事			
					対策費用				1			5			
陶公民館体育室	H1	47		民間移管	対策内容	屋根防水 等改修工 事	民間移管を検討	どんぐり工房 無償貸与 継続決定			5年以内に無償貸与継続可否を再協議				
					対策費用	33									
日吉公民館	S60	50	60	長寿命化 複合化	対策内容				調査・ 改修計画			改修設計		長寿命化 改修	
					対策費用				1			5		99	
釜戸公民館	H10	50		複合化	対策内容			ウッドデ ッキ改修	調査・ 改修計画		空調設計	空調改修			
					対策費用			19	1		2	35			
大湫公民館	H3	38	43	長寿命化 複合化	対策内容				調査・ 改修計画		改修設計		長寿命化 改修		
					対策費用				1		4		90		
市民図書館	S58	50		複合化	対策内容			調査・ 改修計画							
					対策費用			中央公民館と合わせて実施							

- ・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。
- ・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)